

大形橋架設工事

茨城縣土木課長・横山 喬

本橋梁は府縣道落田宗道線、茨城縣結城郡大形村と同郡西豊田村地内、鬼怒川に架設されたもので、昭和9年9月18日工事に着手し、昭和11年8月14日竣工を告げた。橋梁は總延長296.2米、總幅員5.0米で面積1,777.2平方米であり、幅員5.5米の取付道路左岸949.0米、右岸1,160.0米總延長2,109.0米を同時に施工した。總工費は113,788圓で鬼怒川工業株式會社の請負施工に係り、常陸セメント株式會社がセメントを供給した。工事の概要を摘記すれば次の通りである。

〔橋梁〕

下部構造・鐵筋コンクリート造で、橋臺2基

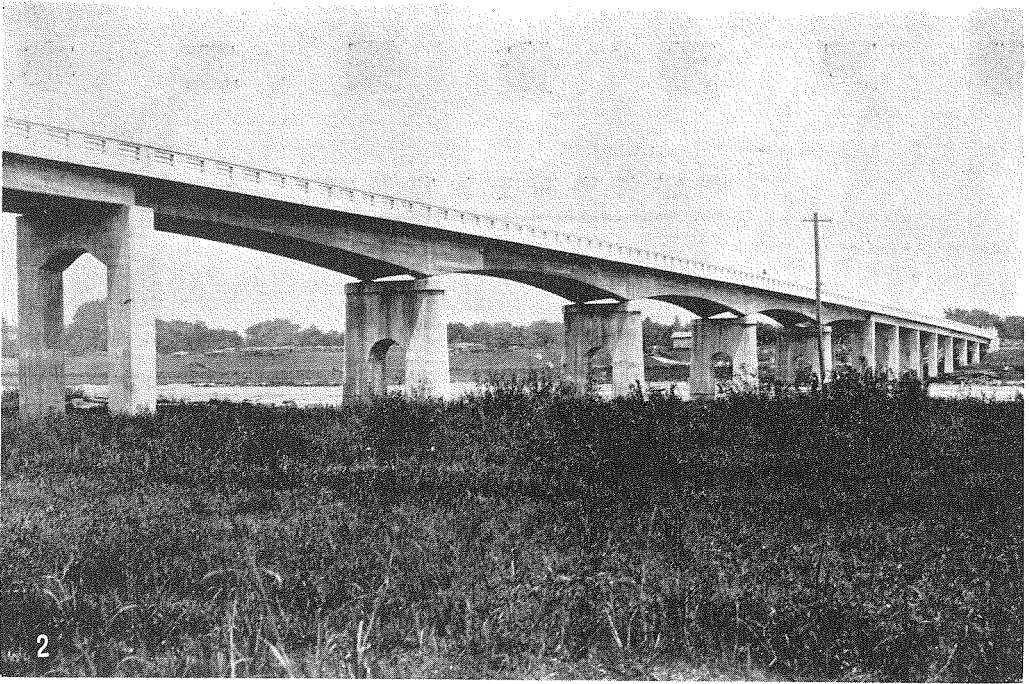
橋脚18基のうち、橋臺2基と洪水敷部橋脚14基は杭打基礎、低水敷橋脚4基は井筒基礎である。

上部構造・鐵筋コンクリート造で、洪水敷14徑間は徑間13.3米のT形桁、低水敷架設の5徑間はゲルバー式桁で、徑間24.0米が3連、同19.0米が2連である。

使用材料及勞力・鐵筋212,891.0疋、セメント21,240.0袋、砂1,351.0立米、砂利2,654.6立米、使用延人員16,900人である。

〔取付道路〕

取付道路の工事は土工9,456.8立米、敷砂利744.3立米、使用延人員3,200人である。



- (1) 大 形 橋 の 正 面。
(2) 低 水 敷 ゲルバー 桁 仰 観。
(3) 大 形 橋 側 面 全 景。

